

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	工業英語(4年)	
科目基礎情報						
科目番号	0305		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	ウィリング 整理と演習 英文法 (啓林館)					
担当教員	長谷川 佐知子					
到達目標						
1. 科学技術の分野の最先端情報を英語で理解する。2. 科学技術分野での頻出の語句や表現を学び、意味を把握するだけでなく、未知の語句や表現も類推できる力を養う。3. 実際のコミュニケーションの現場を想定したダイアログやプレゼンテーションを素材にしたリスニングで、発信力を養う。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	大学入試の過去問(TRIAL 2)に対応できる文法力が身についている。		練習問題(TRIAL 1)に対応できる文法の基礎力が身についている。		文法の基礎力が身につけていない。	
評価項目2	Vocabulary Quiz 80%以上		60%以上		60%未満	
評価項目3	Listening 80%以上		60%以上		60%未満	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	工科の学生が、英語で情報を収集し、自ら発信できるような力を身につける。できるだけ新しい話題性のある工業分野の英文を教材にし、自力で読み解く力をつける。					
授業の進め方・方法	学生はテキストの予習、Vocabulary Quiz の準備をして、授業に出席すること。授業の進め方はテキスト通りである。前期中間試験50%、前期末試験50%で達成度を総合評価し、60点以上を合格とする。					
注意点						
事前・事後学習、オフィスアワー						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson 1 動詞	自動詞と他動詞/誤りやすい他動詞と自動詞/第4文型と第3文型との書きかえ/入試でねらわれる重要な動詞		
		2週	Lesson 2 時制	時制の基本/進行形/完了形		
		3週	Lesson 3 助動詞	主な助動詞の用法/その他の助動詞の用法/助動詞+have+過去分詞/助動詞を含む慣用表現		
		4週	Lesson 4 受動態	能動態と受動態/受動態のさまざまな形/受動態と時の表現/いろいろな文型・構文と受動態/群動詞の受動態/注意したい受動態の用法		
		5週	Lesson 5 不定詞	不定詞の3用法/不定詞の注意すべき用法(1)/不定詞の注意すべき用法(2)/S+V+O+C(原形不定詞・to不定詞)/不定詞の慣用表現		
		6週	Lesson 6 動名詞	動名詞の働き/動名詞のさまざまな形/動名詞の慣用表現/動名詞と不定詞		
		7週	Lesson 7 分詞	分詞の種類と用法/分詞構文/付帯状況のwith		
		8週	Lesson 8 関係詞	関係代名詞の種類と用法/関係副詞の種類と用法/限定用法と継続用法/複合関係詞		
	2ndQ	9週	Lesson 9 接続詞	等位接続詞/従属接続詞/相関表現		
		10週	Lesson 10 仮定法	仮定法と時制/仮定法の重要表現/条件がif節以外の仮定法		
		11週	Lesson 11 比較	形容詞・副詞の比較変化/原級を用いた表現/比較級を用いた表現/最上級を用いた表現		
		12週	Lesson 12 いろいろな構文 I	否定/無生物主語		
		13週	Lesson 13 いろいろな構文 II	倒置/強調/省略/挿入/同格		
		14週	Lesson 14 前置詞	前置詞の基本的な意味/群前置詞		
		15週	前期末テスト			
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3					

			英語運用能力の基礎固め	自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30